

平成28年度

# 事業計画書

## ◆◇目次◆◇

社会福祉法人 中山梅寿会 .....	1
指定介護老人福祉施設 なかやま幸梅園.....	2
指定短期入所生活介護事業所 なかやま幸梅園.....	6
指定短期入所生活介護（介護予防）事業所 なかやま幸梅園.....	9
ケアハウス なかやま幸梅園 .....	12
指定通所介護事業所 なかやま幸梅園.....	16
指定通所介護（介護予防）事業所 なかやま幸梅園.....	19
指定居宅介護支援事業所 なかやま幸梅園.....	22
在宅介護支援センター なかやま幸梅園.....	23
指定通所介護事業所 佐礼谷 .....	25
指定通所介護（介護予防）事業所 佐礼谷.....	28
短期入所生活介護事業所 佐礼谷 .....	31
短期入所生活介護（介護予防）事業所 佐礼谷.....	34
指定通所介護事業所 野中 .....	37
指定通所介護（介護予防）事業所 野中.....	40
短期入所生活介護事業所 野中 .....	43
短期入所生活介護（介護予防）事業所 野中.....	46
地域活動支援センター くりのみ .....	49
指定相談支援事業所 くりのみ .....	51

社会福祉法人 中山梅寿会

## 社会福祉法人 中山梅寿会

### 【基本方針】

利用者本位の安心・安全を常に心掛け、満足度の高いサービスを提供する。  
笑顔のあふれた現場で、互いが協調し、地域に信頼される開かれた施設を目指す。  
福祉の拠点として地域ニーズに合った貢献を行う。

### 【具体的取り組み】

- (1) 利用者とその家族の思いに耳を傾け、寄り添う支援を行う。また、プライバシーに配慮した居室等の環境を整える。
- (2) 認知症ケアや重度利用者等への柔軟な対応を行うことで、独居や高齢者世帯でも在宅生活が続けられるよう支援する。また障害者支援や低所得者支援も積極的に行う。
- (3) 職員の人材育成プログラムの検討を行い教育システムの向上を図り、知識や技術の質を高める。また職員の健康管理、特にストレスや腰痛予防に留意すると共に、意欲の向上にむけた公正な評価を行うなど働きやすい職場作りに努める。
- (4) 感染症等の予防及び拡大の防止、介護事故を未然に防ぐための検討会を充実させる。
- (5) 大規模災害を常に想定し、日頃から継続した防災意識を持つことができるよう定期的な地震・火災等の訓練を行うと共に、地域住民との連携充実に向けた取り組みを行う。
- (6) 地域に信頼され開かれた施設を目指すため、常に情報を発信し、施設で培われた資源を展開し地域に貢献する。
- (7) 介護報酬の改定により厳しい状況が続くなか、経費節減に向けた取り組みや、体制を整えることで可能な加算の取得をすることで運営基盤の安定を図る。
- (8) 働き甲斐のある職場作りには取り組み職員処遇向上に努める。

## 指定介護老人福祉施設 なかやま幸梅園

### 【基本方針】

利用者の尊厳と自己決定を尊重したサービスを提供すると共に、安全と安心の中で心おだやかに暮らせる生活を援助する。また介護における知識・技術を現場から地域へ発信する。

### 【具体的取り組み】

利用者個々の今まで培われてきた生活様式や生活習慣の把握に努め、個性や心身の状況に応じてその人らしい生活を支援する。また、生活場面においては、家庭的な環境の中で馴染みの人間関係を構築し、利用者主体の個別ケアに努めると共に、居室内でのプライバシーを確保する。

## 1. 利用者のニーズに沿った個別ケアと生活支援の実践

### (1) 食 事

(ア) 食べやすく、美味しい食事の提供

- ① 嗜好調査に基づいた、利用者の意思を尊重しながら多職種と連携し、食事形態の見直しを行い、より食べやすい形態で提供できるよう工夫する。
- ② ソフト食や軟菜食の充実に努める。
- ③ 家庭的な雰囲気の中で、利用者自らがメニューを選択できる環境を整える。
- ④ 年間計画を作成し、季節感を感じられる行事食の提供と生活習慣を取り入れた調理・おやつ作りを行う。

(イ) 栄養ケアマネジメントの実施

- ① 栄養管理計画書作成により個々に応じた栄養管理を行う。
- ② 定期的評価、見直しを行い体調管理の維持に繋げる。

(ウ) 衛生管理の徹底

- ① 衛生管理を徹底し、食中毒及び感染症予防を積極的に努め厨房内の環境衛生を保つ。  
毎 月：保菌検査(業者にて)      年 2 回：厨房内の大掃除(業者にて)
- ② 安全な食材の使用を確保する。
- ③ 勉強会の実施により法的内容の理解も深める。

(エ) 会議の充実

- ① 厨房会での話し合い、提出された意見や課題に対し個々の目標を持ち行動する。

(オ) 個々のスキルアップ

- ① 栄養士  
多職種と連携しながら連絡体制を強化、情報を共有し円滑に対応できるようにする。効率的に調理を行えるよう迅速に事務処理を行う。
- ② 調理員  
調理技術を磨きながらチームワークで新しいことにも取り組む。
- (カ) 環境整備
  - ① 使用機器の日々の清掃、定期的な点検・保全に努め安心できる作業場を確保する。
- (2) 排泄
  - ① 利用者個々に合った心地よい、根拠のある排泄ケアを提供するために、事例フォーマットを活用しながら排泄用品の提供を行うと共に、排泄行為に関する援助を適切に行う。
  - ② プライバシー及び、清潔を確保しながら利用者が安心して排泄できる環境作りに努める。
- (3) 入浴
  - ① 利用者の希望や状態を定期的に見直し、個々に合った入浴体制を整える。
  - ② 利用者の状況に応じた入浴ケアの知識や技術を身に付け、利用者が安心して入浴できるように努める。
- (4) レクリエーション・リハビリ
  - ① 利用者の希望を適宜アセスメントしながら、個別機能訓練及び外出やレクリエーション等を実施し、また、定期的に評価を行う。
  - ③ 離床の機会を増やすことを目指して、リクライニング車椅子の整備や、適したリハビリ用具・介護機器を提供し、生活しやすい環境を整える。
- (5) ケアプラン（介護サービス計画）
  - ① 生活歴を基に個人や家族の思いや喜び、心地よさ、生きがい等を追求するため、センター方式を使用し、ケアプランを立案実施する。
  - ② 定期的なモニタリング（評価）を実施し、より利用者のニーズに沿ったケアプランの実践に努める。
- (6) 環境整備  
設備及び、器具類等の点検を定期的の実施し、必要な補修、修繕等を行うと共に、利用者個々の状態に合わせて居心地の良い快適な環境の整備を行う。

## 2. リスク管理

利用者が安全に過ごせるよう、事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

- (1) 介護用品や備品、危険箇所の点検を定期的に行い、安全かつ快適に過ごすための介護機器の検討と環境整備を行う。
- (2) 利用者の情報収集を十分に行い、予測できる事故について家族と共に理解し未然に防ぐ工夫をする。
- (3) ヒヤリハット活動を充実させることにより事故予防に繋げる。
- (4) 事故発生時は、マニュアルに沿った迅速かつ適切な対応を行い、原因を多面的に検証し、再発防止に努める。

### 3. 防災対策

火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織等との連携強化を図る。

- (1) 火災害等の発生に備えて、状況に応じて迅速かつ、適切な避難誘導が行えるよう、定期的に避難訓練等を実施する。
- (2) 防災設備については、緊急時に十分機能するよう、日頃から定期的に点検整備を実施する。
- (3) 地震及び、風水害等発生時対応マニュアルに沿って、自然災害発生時における避難、救護体制の構築を図る。
- (4) 地域総合防災訓練への参加及び、消防機関、地域防災組織等との連携により地域ぐるみで自主防災機能の強化を図る。

### 4. 職員教育

質の高いサービスを提供するために、自己研鑽に努め、資質の向上を図る。

- (1) 園内外で開催される各種研修・勉強会等に参加し、専門的な知識、技術を修得し、業務の適正化及び、効率化に努める。
- (2) 挨拶、言葉遣い、身だしなみ等、職員としての基本的なマナーを身につけると共に、職員個々のコミュニケーション能力を高め、サービスの質の向上を目指す。

### 5. 医療的サポート

利用者の健康に対する不安を取り除き、安心して過ごせるよう、看護・介護が一体となって、本人及び家族、医療機関等と連携を図り、健康管理を進める。

- (1) 健康診断  
年2回実施し、その結果を踏まえて必要時医療に繋げる。
- (2) 感染症対策  
勉強会や啓発活動などの年間実施計画表を立案・実施し、予防に努める。また、感染症発生時は、マニュアルに沿った対応を行う。園外研修に参加し、

知識の向上を図る。

(3) 健康管理

日常における一般状態の把握、自己健康管理への助言、疾病の早期発見及び事故防止と事故発生時の適切な対応を行う。

(4) ターミナルケア（終末ケア）

人生の最期を当施設で暮らすことを望まれた場合、本人や家族の希望を確認しながら嘱託医と連携し、マニュアルに沿ったターミナルケアを行う。また、穏やかで安らぎのある日々を提供できるよう支援する。

(5) 褥瘡対策

褥瘡対策チームにて、褥瘡のリスク管理と褥瘡発生時の対応を適切に行う。

**【重点目標】**

- 多床室については、前年度、プライバシー確保のための改修を行ったところであるが、これに伴う様々なリスクファクターの点検及び、対策を講じる。また共有部分についても引き続き、入居者個々の特性に配慮した環境整備に取り組むと共に、併せて臭い対策を強化し、安全、快適で衛生的な環境の整備を目指す。
- 利用者の希望に応じた外泊・外出等を計画的に実施すると共に、併せて、ボランティアとの交流をはじめ、地域行事等にも積極的に参加する。
- 事故予防、防止対策強化として、引き続き事故再発防止対策についての評価を充実させ、重大事故の予防、防止に繋げる。
- 家族会と連携しながら施設サービス等に関する検討会や評価を行い、環境面やサービス、ケアの質の向上に繋げることにより、家族会の機能強化を図る。
- 在宅復帰を念頭に自立支援に向けたケアマネジメントの実践を目指す。
- 地域福祉の拠点として昨年度に引き続き、その資源やノウハウを活用しながら積極的に地域貢献活動を展開する。

## 指定短期入所生活介護事業所 なかやま幸梅園

### 【基本方針】

利用者及び、その家族のニーズや課題の把握に努め、利用者の有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう、サービスを提供する。また、各関連機関との連携を図りながら、利用者の心身機能の維持向上と家族の身体的・精神的負担を軽減することにより、在宅生活が継続できるよう支援する。

### 【具体的取り組み】

#### 1. 個別援助計画

利用者の心身状況及び、生活課題等のニーズを把握すると共に、各関係機関等と連携を図りながら、利用者及び、家族の希望に沿ったサービスを提供する。

- (1) サービス担当者会議等にて、利用者及び、家族の希望と、利用者の生活全般についてその状態を十分に把握する。
- (2) サービスの提供にあたり、居宅サービス計画に基づいたケアプラン（短期入所生活介護計画）を立案し、事前に利用者及び、家族に説明し、同意を得る。
- (3) 定期的なモニタリング(評価)を実施し、より利用者のニーズに沿ったケアプランの実践に努める。

#### 2. 機能訓練

利用者の自立を支援し、機能の維持向上を図るため、機能訓練を計画的かつ、継続的に実施する。

- (1) 利用者の心身状況及び生活リズムに応じて、日常生活に必要な機能を維持するためのリハビリを行う。
- (2) 利用者個々の生活史を考慮したレクリエーション活動を提供すると共に、経過や効果等について検証し、在宅生活や関連事業所でのケアに繋げる。

#### 3. 健康管理

生活環境の変化による体調不良、混乱を防止するために、必要な健康管理体制を整え、適切な対応を行う。

- (1) サービスの利用毎に、利用者の心身状況を確認し、本人及び家族、医療機関と連携を図り、健康管理を行う。
- (2) 感染症対策については、感染症マニュアルに沿って適切に対応し、予防に努め、発生時には蔓延、拡大の防止を図る。

#### 4. 環境整備

生活場所の変化による混乱が生じる可能性があることを説明し、情報収集することにより、できる限り在宅生活に近い環境の整備を行う。また、利用に際しては、事業所での居室環境について説明を行い、同意を得る。

#### 5. リスク管理

利用者が安全に過ごせるよう、事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

- (1) 介護用品や備品、危険箇所の点検を定期的に行い、安全かつ快適に過ごすための介護機器の検討と環境整備を行う。
- (2) 利用者の情報収集を十分に行い、予測できる事故について家族と共に理解し未然に防ぐ工夫をする。
- (3) ヒヤリハット活動を充実させることにより事故予防に繋げる。
- (4) 事故発生時は、マニュアルに沿った迅速かつ適切な対応を行い、原因を多面的に検証し、再発防止に努める。

#### 6. 防災対策

火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織との連携強化を図る。

- (1) 火災害等の発生に備えて、状況に応じて迅速かつ、適切な避難誘導が行えるよう、定期的に避難訓練等を実施する。
- (2) 防災設備については、緊急時に十分機能するよう、日頃から定期的に点検整備を実施する。
- (3) 地震及び、風水害等発生時対応マニュアルに沿って、自然災害発生時における避難、救護体制の構築を図る。
- (4) 地域総合防災訓練への参加及び、消防機関、地域防災組織等との連携により地域ぐるみで自主防災機能の強化を図る。

#### 7. 職員教育

質の高いサービスを提供するために、自己研鑽に努め、資質の向上を図る。

- (1) 園内外で開催される各種研修・勉強会等に参加し、専門的な知識、技術を修得し、業務の適正化及び、効率化に努める。
- (2) 挨拶、言葉遣い、身だしなみ等、職員としての基本的なマナーを身につけると共に、職員個々のコミュニケーション能力を高め、サービスの質の向上を目指す。



## 8. 地域交流

地域における行事等への参加や、地区住民との交流、ボランティア等の受け入れを通じて、地域コミュニティ機能の充実を図る。

### 【重点目標】

- 利用者一人ひとりが安心して在宅生活を継続できるよう、引き続き家族、居宅介護支援事業所、各関係機関及び、他のサービス事業所との連携強化を図る。
- 複数のサービス事業所を利用する利用者の増加に伴い、個々の心身状態や介護方法等の情報を共有し、利用者、家族の希望に沿ったサービス提供に繋げる。
- 医療依存度の高い利用者また、終末期状態での受入れ等、介護ニーズの多様化する中、緊急的な利用希望等も含め、医療機関や各関係機関と連携しながら、柔軟かつ、円滑な受入れ及び、適切なサービス提供体制の整備に努める。
- 自然災害等の発生に備えて、避難訓練の実施や地域防災組織等との連携を図りながら利用者、職員の安全が確保できるよう災害時の体制整備に努める。

## 指定短期入所生活介護（介護予防）事業所 なかやま幸梅園

### 【基本方針】

利用者の生活課題や家族の抱える様々な問題やニーズを的確に把握すると共に、各関係機関及び、地域との連携を強化して利用者の精神的安定と身体機能の維持向上を目指した介護予防サービスを行う。

### 【具体的取り組み】

#### 1. 個別援助計画

利用者の心身状況及び、生活課題等のニーズを把握すると共に、各関係機関等と連携を図りながら、利用者及び、家族の希望に沿ったサービスを提供する。

- (1) サービス担当者会議等にて、利用者及び、家族の希望と、利用者の生活全般についてその状態を十分に把握する。
- (2) サービスの提供にあたり、居宅サービス計画に基づいたケアプラン（介護予防短期入所生活介護計画）を立案し、事前に利用者及び、家族に説明し、同意を得る。
- (3) 定期的なモニタリング(評価)を実施し、より利用者のニーズに沿ったケアプランの実践に努める。

#### 2. 機能訓練

利用者の自立を支援し、機能の維持向上を図るため、機能訓練を計画的かつ、継続的に実施する。

- (1) 利用者の心身状況及び生活リズムに応じて、日常生活に必要な機能を維持するためのリハビリを行う。
- (2) 利用者個々の生活史を考慮したレクリエーション活動を提供すると共に、経過や効果等について検証し、在宅生活や関連事業所でのケアに繋げる。

#### 3. 健康管理

生活環境の変化による体調不良、混乱を防止するために、必要な健康管理体制を整え、適切な対応を行う。

- (1) サービスの利用毎に、利用者の心身状況を確認し、本人及び家族、医療機関と連携を図り、健康管理を行う。
- (2) 感染症対策については、感染症マニュアルに沿って適切に対応し、予防に努め、発生時には蔓延、拡大の防止を図る。

#### 4. 環境整備

生活場所の変化による混乱が生じる可能性があることを説明し、情報収集することにより、できる限り在宅生活に近い環境の整備を行う。また、利用に際しては、事業所での居室環境について説明を行い、同意を得る。

#### 5. リスク管理

利用者が安全に過ごせるよう、事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

- (1) 介護用品や備品、危険箇所の点検を定期的に行い、安全かつ快適に過ごすための介護機器の検討と環境整備を行う。
- (2) 利用者の情報収集を十分に行い、予測できる事故について家族と共に理解し未然に防ぐ工夫をする。
- (3) ヒヤリハット活動を充実させることにより事故予防に繋げる。
- (4) 事故発生時は、マニュアルに沿った迅速かつ適切な対応を行い、原因を多面的に検証し、再発防止に努める。

#### 6. 防災対策

火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織等との連携強化を図る。

- (1) 火災害等の発生に備えて、状況に応じて迅速かつ、適切な避難誘導が行えるよう、定期的に避難訓練等を実施する。
- (2) 防災設備については、緊急時に十分機能するよう、日頃から定期的に点検整備を実施する。
- (3) 地震及び、風水害等発生時対応マニュアルに沿って、自然災害発生時における避難、救護体制の構築を図る。
- (4) 地域総合防災訓練への参加及び、消防機関、地域防災組織等との連携により地域ぐるみで自主防災機能の強化を図る。

#### 7. 職員教育

質の高いサービスを提供するために、自己研鑽に努め、資質の向上を図る。

- (1) 園内外で開催される各種研修・勉強会等に参加し、専門的な知識、技術を修得し、業務の適正化及び、効率化に努める。
- (2) 挨拶、言葉遣い、身だしなみ等、職員としての基本的なマナーを身につけると共に、職員個々のコミュニケーション能力を高め、サービスの質の向上を目指す。

## 8. 地域交流

地域における行事等への参加や、地区住民との交流、ボランティア等の受け入れを通じて、地域コミュニティ機能の充実を図る。

### 【重点目標】

- 利用者一人ひとりが安心して在宅での生活が継続できるよう、引き続き、家族、居宅介護支援事業所、各関係機関及び、他のサービス事業所との連携強化を図る。
- 要介護状態にならないよう、自立支援に重点を置き、利用者の状態を踏まえつつ、家族の希望に沿ったサービス提供を行う。
- 家族の都合等、緊急的な利用希望がある場合においても、円滑な受け入れ及び、適切なサービス提供を行う。
- 自然災害等に備えて、避難訓練の実施や地域防災組織等との連携を図りながら利用者、職員の安全が確保できるよう災害時の体制整備に努める。

## ケアハウス なかやま幸梅園

### 【基本方針】

入居者の生活様式や生活習慣の違いを把握し、個人に必要な援助を行うと共に、集団生活での喜びや楽しさを実感できる家庭的で温もりのある施設を目指す。

居宅介護支援事業所、在宅サービス関連機関との連携を図り、心身共に健康で充実した生活ができるよう支援する。また入居者が生活しやすい環境作りを行う。

### 【具体的取り組み】

#### 1. 健康管理

日頃から入居者の表情や状態を観察し、医療機関、家族との連携に努め、早期に対応ができるよう配慮する。

- (1) 定期的及び状態に応じて健康チェックを行い、必要時には医療機関及び家族への連絡調整に努める。
- (2) 健康診断の場の提供及び予防接種の推進を行い疾病予防、早期発見に努める。
- (3) 入居者の急激な体調の変化に対し、家族、医療機関等への連絡調整に努め、迅速に対応できる体制をとる。
- (4) 感染症や食中毒の予防に向け、日常的に手洗い、消毒、うがい等の声かけを行い、必要に応じて家族や外部への協力を依頼する。
- (5) 定期薬の配布及び服薬確認等の対応を行う。
- (6) 毎月、看護師による健康相談日を設け、健康管理に努める。

#### 2. リスク管理

事故防止に努め、事故原因の検証、必要に応じた対策を講じる。

- (1) 身体機能維持、転倒予防に向け、足腰・口腔の体操を毎日実施する。
- (2) 地域包括支援センター及び、居宅介護支援事業所と連携し、安全管理に対する環境整備、個人に必要な介護用品、介護機器等の対応を行う。
- (3) 「ヒヤリハット」や軽度の事故についても検証し、再発防止に向け対策を講じる。
- (4) 外出外泊時の事故を防止するため、家族にも見守りや援助等の協力を依頼する。
- (5) 夜間、早朝の事故については、緊急時対応マニュアルに沿って、迅速に対応する。
- (6) 入居者が使用している福祉用具の点検を、定期的を実施する。

### 3. 介護福祉サービスへの対応

要支援、要介護者に対し、自立した生活が継続できるよう支援する。

- (1) 定期的に本人、家族、介護支援専門員、サービス関係機関及び、ケアハウス職員による担当者会議を行い、自立支援に向けた体制作りを努める。
- (2) 日常生活に援助を必要とする入居者には、地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所と連携し、本人及び家族等の要望に沿った各種福祉サービスが利用できるよう配慮する。

### 4. 相談、助言、苦情処理

日常生活に支援を必要とする入居者や家族等からの相談に誠意をもって対応する。

- (1) 安心して現在の生活が継続できるよう、本人、家族の意向に沿った方向性を地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所と連携し支援する。
- (2) 入居者及び家族からの相談には誠意をもって対応すると共に、必要時には専門職からのアドバイスも交え、適切な助言に努める。
- (3) 毎月、入居者懇談会を実施し、苦情、要望等に迅速に対応する。
- (4) 必要に応じて家族との懇談会を開催し、施設の方針や情報の提供を行うと共に家族からの意見、要望に迅速に対応する。

### 5. アクティビティサービス

身体機能を維持すると共に、心身の活性化を促進する活動や行事を多く計画し実施する。

- (1) 入居者が希望する無理のない活動を計画し実行する。
- (2) 気分転換を図り、季節感を味わえる外出の活動を多く取り入れる。
- (3) 入居者個別の状態に合わせた創作活動を提供する。
- (4) 故郷訪問を実施する。
- (5) 入居者の嗜好に合わせた外食行事を実施する。

### 6. 防災対策

定期的に避難訓練、消火訓練を実施し、災害時に迅速かつ、適切な判断ができるよう入居者、職員への防災意識の向上を図る。

- (1) 定期的に防災訓練を実施し、日頃から災害についての説明や話し合いを行い意識の向上に努める。
- (2) 地震については、防災計画に沿った訓練を行う。
- (3) 電気機器や火の取り扱いについて入居者に注意を呼び掛けると共に、定期的に点検を実施する。

## 7. 職員間の連携と質の向上

検討課題の発生時は、職員間で早急に話し合い、統一した対応や支援が行えるよう努める。

- (1) 報告、連絡、相談を徹底すると共に、必要に応じケアハウス会議を開催し、統一した処遇を行う。
- (2) 研修会、講習会、勉強会等に積極的に参加し、知識の向上、技術の習得に努める。
- (3) 各事業所からの情報収集に努め、施設全体の動向に対処する。
- (4) 自らの接遇のあり方について適宜、職員間で話し合いを行い、入居者、来園者に対し、質の高い接遇を目指す。

## 8. 地域との交流

地域行事や催し物に積極的に参加し、地域住民との交流を図る。

- (1) 保育園児、幼稚園児、小中学生との交流を多く計画し実施する。
- (2) 年間活動を計画し、地域住民にボランティアとして協力を依頼する。
- (3) 入居者が見学を希望する地域行事は積極的に対応する。

## 9. 環境整備

施設内の器具の点検、不良箇所の整備を行う。

- (1) 定期的にベランダの清掃、物置き等の整理整頓を行う。
- (2) 居室内の建具、電気器具等の点検修理、及び必要に応じた取り換え等を実施する。

## 10. 地域貢献

施設周辺の環境美化を行う。

- (1) 市が管理する幸梅園上り坂付近の土止め箇所の草引き及び清掃を行う。
- (2) 入居者と共に芝桜の挿し木を実施。増殖させた後、土止め箇所に植え、環境美化を図る。

### 【重点目標】

- 入居者が安心して過ごせるよう、家族及び、関係機関と連携を図り、心身共に健康で充実した生活が送れるよう支援する。また、認知症を患っても、住み慣れた地域での生活が継続できるよう、社会資源等を活用し自立生活を支援する。
- 入居者との面談を適宜実施し、個々の課題及びニーズの把握に努め、ケアプランに沿った支援計画を作成する。計画に沿った個別支援を提供し、その人らしい生

活が継続できるよう支援する。

- 入居者及び家族からの要望及び相談には迅速かつ柔軟に対応し、必要時には関係機関と連携を図り、適切な助言やサービス提供を行う。
- 入居者の希望及び状態に応じた活動を計画的に実施すると共に、ボランティアとの交流、地域行事等への参加も積極的に行う。



## 指定通所介護事業所 なかやま幸梅園

### 【基本方針】

利用者が自宅において自立した日常生活を営めるよう、必要な機能訓練を行うことにより、心身、生活機能の維持改善及び向上を目指すと共に、利用者自ら主体的に活動ができるよう計画的かつ、効果的なサービス提供を行う。

### 【具体的取り組み】

#### 1. 個別援助計画

利用者の心身状況及び、生活課題等のニーズを把握すると共に、各関係機関等と連携を図りながら、利用者及び、家族の希望に沿ったサービスを提供する。

- (1) サービス担当者会議等にて、利用者及び、家族の希望と、利用者の生活全般についてその状態を十分に把握する。
- (2) サービスの提供にあたり、居宅サービス計画に基づいたケアプラン（通所介護計画）を立案し、事前に利用者及び、家族に説明し、同意を得る。
- (3) 定期的なモニタリング（評価）を実施し、より利用者のニーズに沿ったケアプランの実践に努める。

#### 2. 機能訓練

利用者が有する能力を最大限活用しながら意欲的に活動できる訓練プログラムの開発及び、アクティビティ（集団的に行われるレクリエーション、創作活動等の機能訓練）の機能強化を図る。

- (1) 利用者の希望や、身体状態に適したリハビリメニューを検討し、継続的に実施することにより、身体機能の維持向上を図る。
- (2) おやつ作りや洗濯物たたみ等の生活リハビリを利用者の嗜好や状態に合わせて、実践しながらADL（日常生活動作）の維持向上に繋げる。

#### 3. 健康管理

利用者の心身状況を確認し、本人及び家族、医療機関と連携を図り、健康維持に努める。また、感染症については、感染症マニュアルに沿った適切な対応を行う。

#### 4. レクリエーション

利用者個々の特性に応じたレクリエーションを検討し、計画的に実施する。

- (1) 利用者のニーズに応じて、意欲的に参加できるレクリエーションメニューの検討及び、実施方法を工夫し、活動の幅を広げる。

- (2) 季節感を取り入れた年間行事や外出等を実施すると共に、地域行事等へも積極的に参加することで、社会性の維持向上を目指す。

## 5. リスク管理

利用者が安全に過ごせるように事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

- (1) 介護用品や備品、危険箇所の点検を定期的に行い、安全かつ快適に過ごすための介護機器の検討と環境整備を行う。
- (2) 利用者の情報収集を十分に行い、予測できる事故について家族と共に理解し未然に防ぐ工夫をする。
- (3) ヒヤリハット活動を充実させることにより事故予防に繋げる。
- (4) 事故発生時は、マニュアルに沿った迅速かつ適切な対応を行い、原因を多面的に検証し、再発防止に努める。

## 6. 防災対策

火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織等との連携強化を図る。

- (1) 火災害等の発生に備えて、状況に応じて迅速かつ、適切な避難誘導が行えるよう、定期的に避難訓練等を実施する。
- (2) 防災設備については、緊急時に十分機能するよう、日頃から定期的に点検整備を実施する。
- (3) 地震及び、風水害等発生時対応マニュアルに沿って、自然災害発生時における避難、救護体制の構築を図る。
- (4) 地域総合防災訓練への参加及び、消防機関、地域防災組織等との連携により地域ぐるみで自主防災機能の強化を図る。

## 7. 職員教育

質の高いサービスを提供するために、自己研鑽に努め、資質の向上を図る。

- (1) 園内外で開催される各種研修・勉強会等に参加し、専門的な知識、技術を修得し、業務の適正化及び、効率化に努める。
- (2) 挨拶、言葉遣い、身だしなみ等、職員としての基本的なマナーを身につけると共に、職員個々のコミュニケーション能力を高め、サービスの質の向上を目指す。

## 8. 地域交流

地域における行事等への参加や、地区住民との交流、ボランティア等の受け入れを通して、地域コミュニティ機能の充実を図る。

## 9. 地域貢献

関係機関と連携して、地域社会の中で生活していくための課題を発見し、地域における様々なニーズに柔軟に対応していく。

- (1) 地域行事に利用者と一緒に参加する。
- (2) 各関係機関、居宅介護支援センター、在宅支援センターと連携を図り、在宅生活を継続していく上で、サービスを必要としている人に対し早期に対応する。また、個々のニーズに対し、柔軟に対応する。

### 【重点目標】

- 今後増加が見込まれる認知症高齢者や、重度の要介護者を積極的に受け入れ、住み慣れた地域での在宅生活を継続できるよう努める。
- サービス利用に関して、利用者個々のニーズに対し柔軟な対応ができるよう努める。
- 接遇に関する目標を定め、定期的に評価・検討を行い、利用者個々の立場に立った対応を心掛ける。また、勉強会や業務検討を行うことで、職員個々の知識及び技術の向上を図り、利用者が安心してサービスを利用できるよう質の向上に努める。
- レクリエーションについて、利用者からの要望を取り入れて実施する中で、定期的に検討を行う。また、季節に応じた外出行事や調理レクリエーション等を計画的に実施し、利用者が楽しみを持ってサービスが利用できるようにする。
- 関係機関と連携を図り、統一した個別援助の実施に努める。
- 年々進む利用者の重度化に対応するため、サービス内容について検討し、個々に合ったケアができるよう努める。

## 指定通所介護（介護予防）事業所 なかやま幸梅園

### 【基本方針】

利用者が自宅において自立した日常生活を営めるよう、必要な機能訓練を行うことにより、心身、生活機能の維持改善及び向上を目指すと共に、利用者自ら主体的に活動ができるよう計画的かつ、効果的なサービス提供を行う。

### 【具体的取り組み】

#### 1. 個別援助計画

利用者の心身状況及び、生活課題等のニーズを把握すると共に、各関係機関等と連携を図りながら、利用者及び、家族の希望に沿ったサービスを提供する。

- (1) サービス担当者会議等にて、利用者及び、家族の希望と、利用者の生活全般についてその状態を十分に把握する。
- (2) サービスの提供にあたり、居宅サービス計画に基づいたケアプラン（介護予防通所介護計画）を立案し、事前に利用者及び、家族に説明し、同意を得る。
- (3) 定期的なモニタリング（評価）を実施し、より利用者のニーズに沿ったケアプランの実践に努める。

#### 2. 機能訓練

利用者が有する能力を最大限活用しながら意欲的に活動できる訓練プログラムの開発及び、アクティビティ（集団的に行われるレクリエーション、創作活動等の機能訓練）の機能強化を図る。

- (1) 利用者の希望や、身体状態に適したリハビリメニューを検討し、継続的に実施することにより、身体機能の維持向上を図る。
- (2) おやつ作りや洗濯物たたみ等の生活リハビリを利用者の嗜好や状態に合わせて、実践しながらADL（日常生活動作）の維持向上に繋げる。

#### 3. 健康管理

利用者の心身状況を確認し、本人及び家族、医療機関と連携を図り、健康維持に努める。また、感染症については、感染症マニュアルに沿った適切な対応を行う。

#### 4. レクリエーション

利用者個々の特性に応じたレクリエーションを検討し、計画的に実施する。

- (1) 利用者のニーズに応じて、意欲的に参加できるレクリエーションメニューの検討及び、実施方法を工夫し、活動の幅を広げる。

- (2) 季節感を取り入れた年間行事や外出等を実施すると共に、地域行事等へも積極的に参加することで、社会性の維持向上を目指す。

## 5. リスク管理

利用者が安全に過ごせるように事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

- (1) 介護用品や備品、危険箇所の点検を定期的に行い、安全かつ快適に過ごすための介護機器の検討と環境整備を行う。
- (2) 利用者の情報収集を十分に行い、予測できる事故について家族と共に理解し未然に防ぐ工夫をする。
- (3) ヒヤリハット活動を充実させることにより事故予防に繋げる。
- (4) 事故発生時は、マニュアルに沿った迅速かつ適切な対応を行い、原因を多面的に検証し、再発防止に努める。

## 6. 防災対策

火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織等との連携強化を図る。

- (1) 火災害等の発生に備えて、状況に応じて迅速かつ、適切な避難誘導が行えるよう、定期的に避難訓練等を実施する。
- (2) 防災設備については、緊急時に十分機能するよう、日頃から定期的に点検整備を実施する。
- (3) 地震及び、風水害等発生時対応マニュアルに沿って、自然災害発生時における避難、救護体制の構築を図る。
- (4) 地域総合防災訓練への参加及び、消防機関、地域防災組織等との連携により地域ぐるみで自主防災機能の強化を図る。

## 7. 職員教育

質の高いサービスを提供するために、自己研鑽に努め、資質の向上を図る。

- (1) 園内外で開催される各種研修・勉強会等に参加し、専門的な知識、技術を修得し、業務の適正化及び、効率化に努める。
- (2) 挨拶、言葉遣い、身だしなみ等、職員としての基本的なマナーを身につけると共に、職員個々のコミュニケーション能力を高め、サービスの質の向上を目指す。

## 8. 地域交流

地域における行事等への参加や、地区住民との交流、ボランティア等の受け入れを通して、地域コミュニティ機能の充実を図る。

## 9. 地域貢献

関係機関と連携して、地域社会の中で生活していくための課題を発見し、地域における様々なニーズに柔軟に対応していく。

- (1) 地域行事に利用者と一緒に参加する。
- (2) 各関係機関、居宅介護支援センター、在宅支援センターと連携を図り、在宅生活を継続していく上で、サービスを必要としている人に対し早期に対応する。また、個々のニーズに対し、柔軟に対応する。

### 【重点目標】

- 今後増加が見込まれる認知症高齢者が、住み慣れた地域で、より自立した在宅生活を維持できるよう努める。
- 接遇に関する目標を定め、定期的に評価・検討を行い、利用者個々の立場に立った対応を心掛ける。また、勉強会や業務検討を行うことで、職員個々の知識及び技術の向上を図り、利用者が安心してサービスを利用できるよう質の向上に努める。
- レクリエーションについて、利用者からの要望を取り入れて実施する中で、定期的に検討を行う。また、季節に応じた外出行事や調理レクリエーション等を計画的に実施し、利用者が楽しみを持ってサービスが利用できるようにする。
- 関係機関と連携を図り、統一した個別援助の実施に努める。

## 指定居宅介護支援事業所 なかやま幸梅園

### 【基本方針】

可能な限り、自宅において、その有する能力に応じた自立生活が営めるよう、利用者、家族と一緒に考え、個々の解決すべき課題、その心身の状況や置かれている環境等に応じて保健・医療・福祉にわたるサービスが、総合的かつ効率的に提供できるよう支援する。

### 【具体的取り組み】

#### 1. 介護保険最新情報の把握・家族への説明

介護保険制度改正の対応を適切に行い、利用者・家族が安心してサービスを利用できるよう情報提供を行うと共に、サービス関係機関との連携を密に行う。

#### 2. 居宅サービス計画の充実

利用者の心身の状態や環境、生活歴を把握すると共に、課題等を分析し、本人の力を引き出せるようなサービスを利用者・家族・サービス担当者等を含めて検討することで、その人らしい生活ができるようにケアプランを作成する。

安全で安楽に過ごせるように、自宅での生活動線を把握し、環境を整える。

#### 3. サービスの評価とサービスの質の確保

毎月の訪問時に、利用者の心身状態及び生活状況を把握すると共に、サービス事業者の意見を参考に、計画が適切であるかを確認しながら援助目標の達成度を毎月評価し、また計画見直しが必要な場合には担当者会議へ繋げる。

必要な研修会等に参加し、知識の向上に努める。認知症の理解を深め、オレンジリングを獲得する。

#### 4. 医療と介護の連携

医療と介護の継ぎ目のないサービスを効果的に利用できるようにする観点から、入院時や退院・退所時に病院等と連絡を取り合い、利用者に関する情報共有を行う。

#### 5. 認知症高齢者・独居高齢者等の支援及び地域貢献

認知症や独居になっても住み慣れた地域での生活が継続できるように、地域との繋がりを保つケアマネジメントを実施し、在宅介護支援センターと協力しながら地域貢献を行う。また、緊急時の対応がスムーズに行えるよう、連絡先の再確認や、緊急災害時連絡一覧の更新を行う。

## 在宅介護支援センター なかやま幸梅園

### 【基本方針】

中山町の高齢者やその家族に対し、介護や医療などの相談支援を行い、必要に応じて保健・医療・福祉サービスが円滑に受けられるよう関係機関と連携し、在宅での生活が継続できるよう支援を行う。また、介護予防等の啓発事業など地域貢献も行う。

### 【具体的取り組み】

#### 1. 地域ケア会議

保健・医療・福祉・行政関係者が集まり、中山町における要援護者の抱える問題解決に向けた情報交換等を行う場として月に一度開催する。引き続き地域包括ケアシステムの構築に向けて行政・関係機関と連携を取りながら検討する。

#### 2. 一次予防事業対象者介護予防事業

各種教室や相談などの実施により、介護予防に関する知識の普及、啓発、及び地域で活動するサロンなどの団体支援を行う。主に、理学療法士による転倒骨折予防教室、専門家による認知症予防教室、栄養士による料理教室などを行う。また、月に1度、定期的に健康教室を開催する。

#### 3. 家族介護教室

家族介護者や福祉関係者などへ介護に関する知識や技術の習得を目的とした勉強会を開催する。また介護者の気分転換や親睦、職員との情報交換の場として、研修旅行などを行う。

#### 4. 認知症相談

中山町の住民に対して、愛媛大学医学部附属病院の専門医が認知症に関する相談、診察などを行い早期発見・治療に繋げる。また、地域住民や福祉関係者を対象に認知症への理解に向けた啓発活動を行う。中山町健康調査については、今年度から新たに行われるコホート研究（対象者集団を一定期間追跡して研究するもの）が円滑に進むよう地域住民や関係機関と連携する。

#### 5. 高齢者配食サービス事業

独居や高齢者夫婦、日中独居状態の高齢者を対象に、安否確認と栄養確保を目的とした配食サービスを実施する。また、訪問時の急変に対しては迅速な対応を行う。



## 6. 施設の委託管理

### (1) 伊予市高齢者共同住居

入居者の生活支援と安全の確保に取り組む。

1. 昼食作りや建物の清掃、生活相談などの援助を行う。
2. 交通の不便さを緩和するための定期バスを週一回運行し、社会生活から孤立しないよう支援する。
3. 要介護や支援状態になっても、介護保険サービスを利用しながら、可能な限り共同住居での生活が続けられるように支援する。

### (2) 中山老人憩いの家

中山地域の高齢者または要援護高齢者の集会や憩いの場として施設を提供し高齢者間の交流を促進する。

## 7. 中山老人憩いの家自主事業「がんばる会」

中山老人憩いの家において、中山町の高齢者または要援護高齢者の外出する機会を作り、レクリエーション活動などを通して交流や趣味を見つけ、閉じこもりなど社会的孤立や心身機能低下などの予防に努める。また、認知症や転倒予防、口腔ケアなどの啓発活動を行い介護予防に繋げる。

## 8. 通所型介護予防事業（二次予防事業）

健康診断などで機能低下が認められた高齢者を対象に、週1回程度中山老人憩いの家において機能向上訓練を行い、要介護や要支援状態にならないよう支援する。また、引き続き中山町健康調査後のフォローの一環として、地区毎に6ヶ月間、月2回のペースで継続的な予防教室（いきいき教室）を行う。

## 9. 地域包括ケア相談窓口設置事業

伊予市地域包括支援センターの窓口機関（ランチ）設置委託を受け、中山町において支援を必要とする高齢者及び家族などの相談に応じながら、個々または地域の課題発見並びに解決を図る。また、必要に応じて関係機関と連絡調整を行い、適切なサービスに結び付けるなど要支援・要介護状態にならないよう継続的な支援を行う。

## 指定通所介護事業所 佐礼谷

### 【基本方針】

利用者が自宅において自立した日常生活を営めるよう、必要な機能訓練を行うことにより、心身、生活機能の維持改善及び向上を目指すと共に、利用者自ら主体的に活動ができるよう計画的かつ、効果的なサービス提供を行う。

### 【具体的取り組み】

#### 1. 個別援助計画

利用者の心身状況及び、生活課題等のニーズを把握すると共に、各関係機関等と連携を図りながら、利用者及び、家族の希望に沿ったサービスを提供する。

- (1) サービス担当者会議等にて、利用者及び、家族の希望と、利用者の生活全般についてその状態を十分に把握する。
- (2) サービスの提供にあたり、居宅サービス計画に基づいたケアプラン（通所介護計画）を立案し、事前に利用者及び、家族に説明し、同意を得る。
- (3) 定期的なモニタリング（評価）を実施し、より利用者のニーズに沿ったケアプランの実践に努める。

#### 2. 機能訓練

利用者が有する能力を最大限活用しながら意欲的に活動できる訓練プログラムの開発及び、アクティビティ（集団的に行われるレクリエーション、創作活動等の機能訓練）の機能強化を図る。

- (1) 利用者の希望や、身体状態に適したリハビリメニューを検討し、継続的に実施することにより、身体機能の維持向上を図る。
- (2) おやつ作りや洗濯物たたみ等の生活リハビリを利用者の嗜好や状態に合わせて、実践しながらADL（日常生活動作）の維持向上に繋げる。

#### 3. 健康管理

利用者の心身状況を確認し、本人及び家族、医療機関と連携を図り、健康維持に努める。また、感染症については、感染症マニュアルに沿った適切な対応を行う。

#### 4. レクリエーション

利用者個々の特性に応じたレクリエーションを検討し、計画的に実施する。

- (1) 利用者のニーズに応じて、意欲的に参加できるレクリエーションメニューの検討及び、実施方法を工夫し、活動の幅を広げる。

- (2) 季節感を取り入れた年間行事や外出等を実施すると共に、地域行事等へも積極的に参加することで、社会性の維持向上を目指す。

## 5. リスク管理

利用者が安全に過ごせるように事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

- (1) 介護用品や備品、危険箇所の点検を定期的に行い、安全かつ快適に過ごすための介護機器の検討と環境整備を行う。
- (2) 利用者の情報収集を十分に行い、予測できる事故について家族と共に理解し未然に防ぐ工夫をする。
- (3) ヒヤリハット活動を充実させることにより事故予防に繋げる。
- (4) 事故発生時は、マニュアルに沿った迅速かつ適切な対応を行い、原因を多面的に検証し、再発防止に努める。

## 6. 防災対策

火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織等との連携強化を図る。

- (1) 火災害等の発生に備えて、状況に応じて迅速かつ、適切な避難誘導が行えるよう、定期的に避難訓練等を実施する。
- (2) 防災設備については、緊急時に十分機能するよう、日頃から定期的に点検整備を実施する。
- (3) 地震及び、風水害等発生時対応マニュアルに沿って、自然災害発生時における避難、救護体制の構築を図る。
- (4) 地域総合防災訓練への参加及び、消防機関、地域防災組織等との連携により地域ぐるみで自主防災機能の強化を図る。

## 7. 職員教育

質の高いサービスを提供するために、自己研鑽に努め、資質の向上を図る。

- (1) 園内外で開催される各種研修・勉強会等に参加し、専門的な知識、技術を修得し、業務の適正化及び、効率化に努める。
- (2) 挨拶、言葉遣い、身だしなみ等、職員としての基本的なマナーを身につけると共に、職員個々のコミュニケーション能力を高め、サービスの質の向上を目指す。

## 8. 地域交流

地域における行事等への参加や、地区住民との交流、ボランティア等の受け入れを通して、地域コミュニティ機能の充実を図る。

## 9. 地域貢献

地域に感謝し、理解と信頼が得られるように努めると共に、地域に根ざし開かれた施設を目指す。

- (1) 地域や学校行事に参加し、交流を図る。
- (2) 地域住民による施設見学等を実施し、福祉用具の操作、説明等の講習を行う。
- (3) 各関係機関と連携しながら地域のニーズを把握し、必要時には相談やサービスに繋げる。

### 【重点目標】

- 日々変化する利用者の状態、ニーズを把握し、家族と情報共有しながら各利用者に応じた柔軟なケアを提供する。
- 医療依存度の高い利用者も安心して利用できるよう、医療機関及び他関連機関と連携し、適切なサービスの提供に努める。
- 心身の活性化を図るため、各利用者の個性に合わせた、個別の持続できるアクティビティを検討し提供する。
- 毎月のカンファレンス等を利用して勉強会を実施する。
- 建物の老朽化に伴い、施設内の不備や危険箇所については早期発見し、安全で快適な環境を整える。
- 自然災害に備え、日頃より防災知識を深め利用者にも周知する。また、新しい情報を得ると共に、地域との連携を密にする。緊急時には、情報収集、周囲の観察等を行い、地域防災組織等と連携を図りながら利用者、職員の安全を確保する。

## 指定通所介護（介護予防）事業所 佐礼谷

### 【基本方針】

利用者が自宅において自立した日常生活を営めるよう、必要な機能訓練を行うことにより、心身、生活機能の維持改善及び向上を目指すと共に、利用者自ら主体的に活動ができるよう計画的かつ、効果的なサービス提供を行う。

### 【具体的取り組み】

#### 1. 個別援助計画

利用者の心身状況及び、生活課題等のニーズを把握すると共に、各関係機関等と連携を図りながら、利用者及び、家族の希望に沿ったサービスを提供する。

- (1) サービス担当者会議等にて、利用者及び、家族の希望と、利用者の生活全般についてその状態を十分に把握する。
- (2) サービスの提供にあたり、居宅サービス計画に基づいたケアプラン（介護予防通所介護計画）を立案し、事前に利用者及び、家族に説明し、同意を得る。
- (3) 定期的なモニタリング（評価）を実施し、より利用者のニーズに沿ったケアプランの実践に努める。

#### 2. 機能訓練

利用者が有する能力を最大限活用しながら意欲的に活動できる訓練プログラムの開発及び、アクティビティ（集団的に行われるレクリエーション、創作活動等の機能訓練）の機能強化を図る。

- (1) 利用者の希望や、身体状態に適したリハビリメニューを検討し、継続的に実施することにより、身体機能の維持向上を図る。
- (2) おやつ作りや洗濯物たたみ等の生活リハビリを利用者の嗜好や状態に合わせて、実践しながらADL（日常生活動作）の維持向上に繋げる。

#### 3. 健康管理

利用者の心身状況を確認し、本人及び家族、医療機関と連携を図り、健康維持に努める。また、感染症については、感染症マニュアルに沿った適切な対応を行う。

#### 4. レクリエーション

利用者個々の特性に応じたレクリエーションを検討し、計画的に実施する。

- (1) 利用者のニーズに応じて、意欲的に参加できるレクリエーションメニューの検討及び、実施方法を工夫し、活動の幅を広げる。

- (2) 季節感を取り入れた年間行事や外出等を実施すると共に、地域行事等へも積極的に参加することで、社会性の維持向上を目指す。

## 5. リスク管理

利用者が安全に過ごせるように事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

- (1) 介護用品や備品、危険箇所の点検を定期的に行い、安全かつ快適に過ごすための介護機器の検討と環境整備を行う。
- (2) 利用者の情報収集を十分に行い、予測できる事故について家族と共に理解し未然に防ぐ工夫をする。
- (3) ヒヤリハット活動を充実させることにより事故予防に繋げる。
- (4) 事故発生時は、マニュアルに沿った迅速かつ適切な対応を行い、原因を多面的に検証し、再発防止に努める。

## 6. 防災対策

火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織等との連携強化を図る。

- (1) 火災害等の発生に備えて、状況に応じて迅速かつ、適切な避難誘導が行えるよう、定期的に避難訓練等を実施する。
- (2) 防災設備については、緊急時に十分機能するよう、日頃から定期的に点検整備を実施する。
- (3) 地震及び、風水害等発生時対応マニュアルに沿って、自然災害発生時における避難、救護体制の構築を図る。
- (4) 地域総合防災訓練への参加及び、消防機関、地域防災組織等との連携により地域ぐるみで自主防災機能の強化を図る。

## 7. 職員教育

質の高いサービスを提供するために、自己研鑽に努め、資質の向上を図る。

- (1) 園内外で開催される各種研修・勉強会等に参加し、専門的な知識、技術を修得し、業務の適正化及び、効率化に努める。
- (2) 挨拶、言葉遣い、身だしなみ等、職員としての基本的なマナーを身につけると共に、職員個々のコミュニケーション能力を高め、サービスの質の向上を目指す。

## 8. 地域交流

地域における行事等への参加や、地区住民との交流、ボランティア等の受け入れを通して、地域コミュニティ機能の充実を図る。

## 9. 地域貢献

地域に感謝し、理解と信頼が得られるように努めると共に、地域に根ざし開かれた施設を目指す。

- (1) 地域や学校行事に参加し、交流を図る。
- (2) 地域住民による施設見学等を実施し、福祉用具の操作、説明等の講習を行う。
- (3) 各関係機関と連携しながら地域のニーズを把握し、必要時には相談やサービスに繋げる。

### 【重点目標】

- 日々変化する利用者の状態、ニーズを把握し、家族と情報共有しながら各利用者に応じた柔軟なケアを提供する。
- 心身の活性化を図るため、各利用者の個性に合わせた、個別の持続できるアクティビティを検討し提供する。
- 毎月のカンファレンス等を利用して勉強会を実施する。
- 建物の老朽化に伴い、施設内の不備や危険箇所については早期発見し、安全で快適な環境を整える。
- 自然災害に備え、日頃より防災知識を深め利用者にも周知する。また、新しい情報を得ると共に、地域との連携を密にする。緊急時には、情報収集、周囲の観察等を行い、地域防災組織等と連携を図りながら利用者、職員の安全を確保する。

## 短期入所生活介護事業所 佐礼谷

### 【基本方針】

利用者及び、その家族のニーズや課題の把握に努め、利用者の有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう、サービスを提供する。また、各関連機関との連携を図りながら、利用者の心身機能の維持向上と家族の身体的・精神的負担を軽減することにより、在宅生活が継続できるよう支援する。

### 【具体的取り組み】

#### 1. 個別援助計画

利用者の心身状況及び、生活課題等のニーズを把握すると共に、各関係機関等と連携を図りながら、利用者及び、家族の希望に沿ったサービスを提供する。

- (1) サービス担当者会議等にて、利用者及び、家族の希望と、利用者の生活全般についてその状態を十分に把握する。
- (2) サービスの提供にあたり、居宅サービス計画に基づいたケアプラン（短期入所生活介護計画）を立案し、事前に利用者及び、家族に説明し、同意を得る。
- (3) 定期的なモニタリング(評価)を実施し、より利用者のニーズに沿ったケアプランの実践に努める。

#### 2. 機能訓練

利用者の自立を支援し、機能の維持向上を図るため、機能訓練を計画的かつ、継続的に実施する。

- (1) 利用者の心身状況及び生活リズムに応じて、日常生活に必要な機能を維持するためのリハビリを行う。
- (2) 利用者個々の生活史を考慮したレクリエーション活動を提供すると共に、経過や効果等について検証し、在宅生活や関連事業所でのケアに繋げる。

#### 3. 健康管理

生活環境の変化による体調不良、混乱を防止するために、必要な健康管理体制を整え、適切な対応を行う。

- (1) サービスの利用毎に、利用者の心身状況を確認し、本人及び家族、医療機関と連携を図り、健康管理を行う。
- (2) 感染症対策については、感染症マニュアルに沿って適切に対応し、予防に努め、発生時には蔓延、拡大の防止を図る。



#### 4. 環境整備

生活場所の変化による混乱が生じる可能性があることを説明し、情報収集することにより、できる限り在宅生活に近い環境の整備を行う。また、利用に際しては、事業所での居室環境について説明を行い、同意を得る。

#### 5. リスク管理

利用者が安全に過ごせるよう、事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

- (1) 介護用品や備品、危険箇所の点検を定期的に行い、安全かつ快適に過ごすための介護機器の検討と環境整備を行う。
- (2) 利用者の情報収集を十分に行い、予測できる事故について家族と共に理解し未然に防ぐ工夫をする。
- (3) ヒヤリハット活動を充実させることにより事故予防に繋げる。
- (4) 事故発生時は、マニュアルに沿った迅速かつ適切な対応を行い、原因を多面的に検証し、再発防止に努める。

#### 6. 防災対策

火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織との連携強化を図る。

- (1) 火災害等の発生に備えて、状況に応じて迅速かつ、適切な避難誘導が行えるよう、定期的に避難訓練等を実施する。
- (2) 防災設備については、緊急時に十分機能するよう、日頃から定期的に点検整備を実施する。
- (3) 地震及び、風水害等発生時対応マニュアルに沿って、自然災害発生時における避難、救護体制の構築を図る。
- (4) 地域総合防災訓練への参加及び、消防機関、地域防災組織等との連携により地域ぐるみで自主防災機能の強化を図る。

#### 7. 職員教育

質の高いサービスを提供するために、自己研鑽に努め、資質の向上を図る。

- (1) 園内外で開催される各種研修・勉強会等に参加し、専門的な知識、技術を修得し、業務の適正化及び、効率化に努める。
- (2) 挨拶、言葉遣い、身だしなみ等、職員としての基本的なマナーを身につけると共に、職員個々のコミュニケーション能力を高め、サービスの質の向上を目指す。

## 8. 地域交流

地域における行事等への参加や、地区住民との交流、ボランティア等の受け入れを通じて、地域コミュニティ機能の充実を図る。

## 9. 地域貢献

地域に感謝し、理解と信頼が得られるように努めると共に、地域に根ざし開かれた施設を目指す。

- (1) 地域や学校行事に参加し、交流を図る。
- (2) 地域住民による施設見学等を実施し、福祉用具の操作、説明等の講習を行う。
- (3) 各関係機関と連携しながら地域のニーズを把握し、必要時には相談やサービスに繋げる。

### 【重点目標】

- 日々変化する利用者の状態、ニーズを把握し、家族と情報共有しながら各利用者に応じた柔軟なケアを提供する。
- 利用者の重度化及び疾患の多様化に伴い、医療機関とも情報交換を密にし、状態変化時には迅速に対応する。
- 医療依存度の高い利用者や終末期状態での受け入れについて、マニュアル作成や職員間での話し合いをすることにより、利用者や家族の安心と職員の負担軽減に繋げる。
- 心身の活性化を図るため、各利用者の個性に合わせた、個別の持続できるアクティビティを検討し提供する。
- 毎月のカンファレンス等を利用して勉強会を実施する。
- 建物の老朽化に伴い、施設内の不備や危険箇所については早期発見し、安全で快適な環境を整える。
- 自然災害に備え、日頃より防災知識を深め利用者にも周知する。また、新しい情報を得ると共に、地域との連携を密にする。緊急時には、情報収集、周囲の観察等を行い、地域防災組織等と連携を図りながら利用者、職員の安全を確保する。

## 短期入所生活介護（介護予防）事業所 佐礼谷

### 【基本方針】

利用者の生活課題や家族の抱える様々な問題やニーズを的確に把握すると共に、各関係機関及び、地域との連携を強化して利用者の精神的安定と身体機能の維持向上を目指した介護予防サービスを行う。

### 【具体的取り組み】

#### 1. 個別援助計画

利用者の心身状況及び、生活課題等のニーズを把握すると共に、各関係機関等と連携を図りながら、利用者及び、家族の希望に沿ったサービスを提供する。

- (1) サービス担当者会議等にて、利用者及び、家族の希望と、利用者の生活全般についてその状態を十分に把握する。
- (2) サービスの提供にあたり、居宅サービス計画に基づいたケアプラン（介護予防短期入所生活介護計画）を立案し、事前に利用者及び、家族に説明し、同意を得る。
- (3) 定期的なモニタリング(評価)を実施し、より利用者のニーズに沿ったケアプランの実践に努める。

#### 2. 機能訓練

利用者の自立を支援し、機能の維持向上を図るため、機能訓練を計画的かつ、継続的に実施する。

- (1) 利用者の心身状況及び生活リズムに応じて、日常生活に必要な機能を維持するためのリハビリを行う。
- (2) 利用者個々の生活史を考慮したレクリエーション活動を提供すると共に、経過や効果等について検証し、在宅生活や関連事業所でのケアに繋げる。

#### 3. 健康管理

生活環境の変化による体調不良、混乱を防止するために、必要な健康管理体制を整え、適切な対応を行う。

- (1) サービスの利用毎に、利用者の心身状況を確認し、本人及び家族、医療機関と連携を図り、健康管理を行う。
- (2) 感染症対策については、感染症マニュアルに沿って適切に対応し、予防に努め、発生時には蔓延、拡大の防止を図る。

#### 4. 環境整備

生活場所の変化による混乱が生じる可能性があることを説明し、情報収集することにより、できる限り在宅生活に近い環境の整備を行う。また、利用に際しては、事業所での居室環境について説明を行い、同意を得る。

#### 5. リスク管理

利用者が安全に過ごせるよう、事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

- (1) 介護用品や備品、危険箇所の点検を定期的に行い、安全かつ快適に過ごすための介護機器の検討と環境整備を行う。
- (2) 利用者の情報収集を十分に行い、予測できる事故について家族と共に理解し未然に防ぐ工夫をする。
- (3) ヒヤリハット活動を充実させることにより事故予防に繋げる。
- (4) 事故発生時は、マニュアルに沿った迅速かつ適切な対応を行い、原因を多面的に検証し、再発防止に努める。

#### 6. 防災対策

火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織等との連携強化を図る。

- (1) 火災害等の発生に備えて、状況に応じて迅速かつ、適切な避難誘導が行えるよう、定期的に避難訓練等を実施する。
- (2) 防災設備については、緊急時に十分機能するよう、日頃から定期的に点検整備を実施する。
- (3) 地震及び、風水害等発生時対応マニュアルに沿って、自然災害発生時における避難、救護体制の構築を図る。
- (4) 地域総合防災訓練への参加及び、消防機関、地域防災組織等との連携により地域ぐるみで自主防災機能の強化を図る。

#### 7. 職員教育

質の高いサービスを提供するために、自己研鑽に努め、資質の向上を図る。

- (1) 園内外で開催される各種研修・勉強会等に参加し、専門的な知識、技術を修得し、業務の適正化及び、効率化に努める。
- (2) 挨拶、言葉遣い、身だしなみ等、職員としての基本的なマナーを身につけると共に、職員個々のコミュニケーション能力を高め、サービスの質の向上を目指す。

## 8. 地域交流

地域における行事等への参加や、地区住民との交流、ボランティア等の受け入れを通じて、地域コミュニティ機能の充実を図る。

## 9. 地域貢献

地域に感謝し、理解と信頼が得られるように努めると共に、地域に根ざし開かれた施設を目指す。

- (1) 地域や学校行事に参加し、交流を図る。
- (2) 地域住民による施設見学等を実施し、福祉用具の操作、説明等の講習を行う。
- (3) 各関係機関と連携しながら地域のニーズを把握し、必要時には相談やサービスに繋げる。

### 【重点目標】

- 日々変化する利用者の状態、ニーズを把握し、家族と情報共有しながら各利用者に応じた柔軟なケアを提供する。
- 心身の活性化を図るため、各利用者の個性に合わせた、個別の持続できるアクティビティを検討し提供する。
- 毎月のカンファレンス等を利用して勉強会を実施する。
- 建物の老朽化に伴い、施設内の不備や危険箇所については早期発見し、安全で快適な環境を整える。
- 自然災害に備え、日頃より防災知識を深め利用者にも周知する。また、新しい情報を得ると共に、地域との連携を密にする。緊急時には、情報収集、周囲の観察等を行い、地域防災組織等と連携を図りながら利用者、職員の安全を確保する。

## 指定通所介護事業所 野中

### 【基本方針】

利用者が自宅において自立した日常生活を営めるよう、必要な機能訓練を行うことにより、心身、生活機能の維持改善及び向上を目指すと共に、利用者自ら主体的に活動ができるよう計画的かつ、効果的なサービス提供を行う。

### 【具体的取り組み】

#### 1. 個別援助計画

利用者の心身状況及び、生活課題等のニーズを把握すると共に、各関係機関等と連携を図りながら、利用者及び、家族の希望に沿ったサービスを提供する。

- (1) サービス担当者会議等にて、利用者及び、家族の希望と、利用者の生活全般についてその状態を十分に把握する。
- (2) サービスの提供にあたり、居宅サービス計画に基づいたケアプラン（通所介護計画）を立案し、事前に利用者及び、家族に説明し、同意を得る。
- (3) 定期的なモニタリング（評価）を実施し、より利用者のニーズに沿ったケアプランの実践に努める。

#### 2. 機能訓練

利用者が有する能力を最大限活用しながら意欲的に活動できる訓練プログラムの開発及び、アクティビティ（集団的に行われるレクリエーション、創作活動等の機能訓練）の機能強化を図る。

- (1) 利用者の希望や、身体状態に適したリハビリメニューを検討し、継続的に実施することにより、身体機能の維持向上を図る。
- (2) おやつ作りや洗濯物たたみ等の生活リハビリを利用者の嗜好や状態に合わせて、実践しながらADL（日常生活動作）の維持向上に繋げる。

#### 3. 健康管理

利用者の心身状況を確認し、本人及び家族、医療機関と連携を図り、健康維持に努める。また、感染症については、感染症マニュアルに沿った適切な対応を行う。

#### 4. レクリエーション

利用者個々の特性に応じたレクリエーションを検討し、計画的に実施する。

- (1) 利用者のニーズに応じて、意欲的に参加できるレクリエーションメニューの検討及び、実施方法を工夫し、活動の幅を広げる。

- (2) 季節感を取り入れた年間行事や外出等を実施すると共に、地域行事等へも積極的に参加することで、社会性の維持向上を目指す。

## 5. リスク管理

利用者が安全に過ごせるように事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

- (1) 介護用品や備品、危険箇所の点検を定期的に行い、安全かつ快適に過ごすための介護機器の検討と環境整備を行う。
- (2) 利用者の情報収集を十分に行い、予測できる事故について家族と共に理解し未然に防ぐ工夫をする。
- (3) ヒヤリハット活動を充実させることにより事故予防に繋げる。
- (4) 事故発生時は、マニュアルに沿った迅速かつ適切な対応を行い、原因を多面的に検証し、再発防止に努める。

## 6. 防災対策

火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織等との連携強化を図る。

- (1) 火災害等の発生に備えて、状況に応じて迅速かつ、適切な避難誘導が行えるよう、定期的に避難訓練等を実施する。
- (2) 防災設備については、緊急時に十分機能するよう、日頃から定期的に点検整備を実施する。
- (3) 地震及び、風水害等発生時対応マニュアルに沿って、自然災害発生時における避難、救護体制の構築を図る。
- (4) 地域総合防災訓練への参加及び、消防機関、地域防災組織等との連携により地域ぐるみで自主防災機能の強化を図る。

## 7. 職員教育

質の高いサービスを提供するために、自己研鑽に努め、資質の向上を図る。

- (1) 園内外で開催される各種研修・勉強会等に参加し、専門的な知識、技術を修得し、業務の適正化及び、効率化に努める。
- (2) 挨拶、言葉遣い、身だしなみ等、職員としての基本的なマナーを身につけると共に、職員個々のコミュニケーション能力を高め、サービスの質の向上を目指す。

## 8. 地域交流

地域における行事等への参加や、地区住民との交流、ボランティア等の受け入れを通して、地域コミュニティ機能の充実を図る。

## 9. 地域貢献

関係機関と連携して、地域社会の中で生活していくための課題を発見し、地域における様々なニーズに柔軟に対応していく。

- (1) 地域行事に利用者と一緒に参加する。
- (2) 各関係機関、居宅介護支援センター、在宅支援センターと連携を図り、在宅生活を継続していく上で、サービスを必要としている人に対し早期に対応する。また、個々のニーズに対し、柔軟に対応する。

### 【重点目標】

- 利用者の心身機能に応じたレクリエーション実施方法を再検討し、計画的かつ継続性のある活動ができるよう取り組む。また、外出行事については利用者からの要望も多いことから、目的に合わせて外出先やグループ分け等を検討し、計画的に実施する。
- 利用者の希望や、身体状態に適したリハビリメニューを検討し、継続的に実施することにより、身体機能の維持向上を図る。
- 運動会への参加や準備の手伝い、野中ふれあい館周辺の清掃活動等の、地区行事に参加をし、地域貢献をすることで交流の推進を図り、事業所に対する理解や、コミュニティ機能の充実及び、利用者の拡大に繋げる。
- 医療依存度の高い利用者もサービスを受けられるようサービス内容を検討し、医療機関との連携による情報の共有を図り、円滑な受け入れができるよう整備する。
- 接遇に関する勉強会を行い、利用者を尊重し、個人の状況や立場に立った対応を心掛け、サービスの向上に繋げる。
- 各種研修会への積極的な参加で知識を得ることにより、サービスの質の向上に繋げる。
- 自然災害等、緊急時に備えて地元消防団及び、防災組織等と具体的な協力、連携体制の構築を図る。



## 指定通所介護（介護予防）事業所 野中

### 【基本方針】

利用者が自宅において自立した日常生活を営めるよう、必要な機能訓練を行うことにより、心身、生活機能の維持改善及び向上を目指すと共に、利用者自ら主体的に活動ができるよう計画的かつ、効果的なサービス提供を行う。

### 【具体的取り組み】

#### 1. 個別援助計画

利用者の心身状況及び、生活課題等のニーズを把握すると共に、各関係機関等と連携を図りながら、利用者及び、家族の希望に沿ったサービスを提供する。

- (1) サービス担当者会議等にて、利用者及び、家族の希望と、利用者の生活全般についてその状態を十分に把握する。
- (2) サービスの提供にあたり、居宅サービス計画に基づいたケアプラン（介護予防通所介護計画）を立案し、事前に利用者及び、家族に説明し、同意を得る。
- (3) 定期的なモニタリング（評価）を実施し、より利用者のニーズに沿ったケアプランの実践に努める。

#### 2. 機能訓練

利用者が有する能力を最大限活用しながら意欲的に活動できる訓練プログラムの開発及び、アクティビティ（集団的に行われるレクリエーション、創作活動等の機能訓練）の機能強化を図る。

- (1) 利用者の希望や、身体状態に適したリハビリメニューを検討し、継続的に実施することにより、身体機能の維持向上を図る。
- (2) おやつ作りや洗濯物たたみ等の生活リハビリを利用者の嗜好や状態に合わせて、実践しながらADL（日常生活動作）の維持向上に繋げる。

#### 3. 健康管理

利用者の心身状況を確認し、本人及び家族、医療機関と連携を図り、健康維持に努める。また、感染症については、感染症マニュアルに沿った適切な対応を行う。

#### 4. レクリエーション

利用者個々の特性に応じたレクリエーションを検討し、計画的に実施する。

- (1) 利用者のニーズに応じて、意欲的に参加できるレクリエーションメニューの検討及び、実施方法を工夫し、活動の幅を広げる。

- (2) 季節感を取り入れた年間行事や外出等を実施すると共に、地域行事等へも積極的に参加することで、社会性の維持向上を目指す。

## 5. リスク管理

利用者が安全に過ごせるように事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

- (1) 介護用品や備品、危険箇所の点検を定期的に行い、安全かつ快適に過ごすための介護機器の検討と環境整備を行う。
- (2) 利用者の情報収集を十分に行い、予測できる事故について家族と共に理解し未然に防ぐ工夫をする。
- (3) ヒヤリハット活動を充実させることにより事故予防に繋げる。
- (4) 事故発生時は、マニュアルに沿った迅速かつ適切な対応を行い、原因を多面的に検証し、再発防止に努める。

## 6. 防災対策

火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織等との連携強化を図る。

- (1) 火災害等の発生に備えて、状況に応じて迅速かつ、適切な避難誘導が行えるよう、定期的に避難訓練等を実施する。
- (2) 防災設備については、緊急時に十分機能するよう、日頃から定期的に点検整備を実施する。
- (3) 地震及び、風水害等発生時対応マニュアルに沿って、自然災害発生時における避難、救護体制の構築を図る。
- (4) 地域総合防災訓練への参加及び、消防機関、地域防災組織等との連携により地域ぐるみで自主防災機能の強化を図る。

## 7. 職員教育

質の高いサービスを提供するために、自己研鑽に努め、資質の向上を図る。

- (1) 園内外で開催される各種研修・勉強会等に参加し、専門的な知識、技術を修得し、業務の適正化及び、効率化に努める。
- (2) 挨拶、言葉遣い、身だしなみ等、職員としての基本的なマナーを身につけると共に、職員個々のコミュニケーション能力を高め、サービスの質の向上を目指す。

## 8. 地域交流

地域における行事等への参加や、地区住民との交流、ボランティア等の受け入れを通して、地域コミュニティ機能の充実を図る。

## 9. 地域貢献

関係機関と連携して、地域社会の中で生活していくための課題を発見し、地域における様々なニーズに柔軟に対応していく。

- (1) 地域行事に利用者と一緒に参加する。
- (2) 各関係機関、居宅介護支援センター、在宅支援センターと連携を図り、在宅生活を継続していく上で、サービスを必要としている人に対し早期に対応する。また、個々のニーズに対し、柔軟に対応する。

### 【重点目標】

- 利用者の心身機能に応じたレクリエーション実施方法を再検討し、計画的かつ継続性のある活動ができるよう取り組む。また、外出行事については利用者からの要望も多いことから、目的に合わせて外出先やグループ分け等を検討し、計画的に実施する。
- 利用者の希望や、身体状態に適したリハビリメニューを検討し、継続的に実施することにより、身体機能の維持向上を図る。
- 運動会への参加や準備の手伝い、野中ふれあい館周辺の清掃活動等の、地区行事に参加をし、地域貢献をすることで交流の推進を図り、事業所に対する理解や、コミュニティ機能の充実及び、利用者の拡大に繋げる。
- 接遇に関する勉強会を行い、利用者を尊重し、個人の状況や立場に立った対応を心掛け、サービスの向上に繋げる。
- 各種研修会への積極的な参加で知識を得ることにより、サービスの質の向上に繋げる。
- 自然災害等、緊急時に備えて地元消防団及び、防災組織等と具体的な協力、連携体制の構築を図る。

## 短期入所生活介護事業所 野中

### 【基本方針】

利用者及び、その家族のニーズや課題の把握に努め、利用者の有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう、サービスを提供する。また、各関連機関との連携を図りながら、利用者の心身機能の維持向上と家族の身体的・精神的負担を軽減することにより、在宅生活が継続できるよう支援する。

### 【具体的取り組み】

#### 1. 個別援助計画

利用者の心身状況及び、生活課題等のニーズを把握すると共に、各関係機関等と連携を図りながら、利用者及び、家族の希望に沿ったサービスを提供する。

- (1) サービス担当者会議等にて、利用者及び、家族の希望と、利用者の生活全般についてその状態を十分に把握する。
- (2) サービスの提供にあたり、居宅サービス計画に基づいたケアプラン（短期入所生活介護計画）を立案し、事前に利用者及び、家族に説明し、同意を得る。
- (3) 定期的なモニタリング(評価)を実施し、より利用者のニーズに沿ったケアプランの実践に努める。

#### 2. 機能訓練

利用者の自立を支援し、機能の維持向上を図るため、機能訓練を計画的かつ、継続的に実施する。

- (1) 利用者の心身状況及び生活リズムに応じて、日常生活に必要な機能を維持するためのリハビリを行う。
- (2) 利用者個々の生活史を考慮したレクリエーション活動を提供すると共に、経過や効果等について検証し、在宅生活や関連事業所でのケアに繋げる。

#### 3. 健康管理

生活環境の変化による体調不良、混乱を防止するために、必要な健康管理体制を整え、適切な対応を行う。

- (1) サービスの利用毎に、利用者の心身状況を確認し、本人及び家族、医療機関と連携を図り、健康管理を行う。
- (2) 感染症対策については、感染症マニュアルに沿って適切に対応し、予防に努め、発生時には蔓延、拡大の防止を図る。

#### 4. 環境整備

生活場所の変化による混乱が生じる可能性があることを説明し、情報収集することにより、できる限り在宅生活に近い環境の整備を行う。また、利用に際しては、事業所での居室環境について説明を行い、同意を得る。

#### 5. リスク管理

利用者が安全に過ごせるよう、事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

- (1) 介護用品や備品、危険箇所の点検を定期的に行い、安全かつ快適に過ごすための介護機器の検討と環境整備を行う。
- (2) 利用者の情報収集を十分に行い、予測できる事故について家族と共に理解し未然に防ぐ工夫をする。
- (3) ヒヤリハット活動を充実させることにより事故予防に繋げる。
- (4) 事故発生時は、マニュアルに沿った迅速かつ適切な対応を行い、原因を多面的に検証し、再発防止に努める。

#### 6. 防災対策

火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織との連携強化を図る。

- (1) 火災害等の発生に備えて、状況に応じて迅速かつ、適切な避難誘導が行えるよう、定期的に避難訓練等を実施する。
- (2) 防災設備については、緊急時に十分機能するよう、日頃から定期的に点検整備を実施する。
- (3) 地震及び、風水害等発生時対応マニュアルに沿って、自然災害発生時における避難、救護体制の構築を図る。
- (4) 地域総合防災訓練への参加及び、消防機関、地域防災組織等との連携により地域ぐるみで自主防災機能の強化を図る。

#### 7. 職員教育

質の高いサービスを提供するために、自己研鑽に努め、資質の向上を図る。

- (1) 園内外で開催される各種研修・勉強会等に参加し、専門的な知識、技術を修得し、業務の適正化及び、効率化に努める。
- (2) 挨拶、言葉遣い、身だしなみ等、職員としての基本的なマナーを身につけると共に、職員個々のコミュニケーション能力を高め、サービスの質の向上を目指す。

## 8. 地域交流

地域における行事等への参加や、地区住民との交流、ボランティア等の受け入れを通じて、地域コミュニティ機能の充実を図る。

## 9. 地域貢献

関係機関と連携して、地域社会の中で生活していくための課題を発見し、地域における様々なニーズに柔軟に対応していく。

- (1) 地域行事に利用者と一緒に参加する。
- (2) 各関係機関、居宅介護支援センター、在宅支援センターと連携を図り、在宅生活を継続していく上で、サービスを必要としている人に対し早期に対応する。また、個々のニーズに対し、柔軟に対応する。

### 【重点目標】

- 夜間帯の様子など、生活全般について細かく観察することで、認知症等をはじめとする様々な生活課題に対して、ケアの検討や環境整備等に取り組み精神安定を図る。
- 利用者の心身機能に応じたレクリエーション実施方法を再検討し、計画的かつ継続性のある活動ができるよう取り組む。また、外出行事については利用者からの要望も多いことから、目的に合わせて外出先やグループ分け等を検討し、計画的に実施する。
- 利用者の希望や、身体状態に適したリハビリメニューを検討し、継続的に実施することにより、身体機能の維持向上を図る。
- 運動会への参加や準備の手伝い、野中ふれあい館周辺の清掃活動等の、地区行事に参加をし、地域貢献をすることで交流の推進を図り、事業所に対する理解や、コミュニティ機能の充実及び、利用者の拡大に繋げる。
- 医療依存度の高い利用者もサービスを受けられるようサービス内容を検討し、医療機関との連携による情報の共有を図り、円滑な受け入れができるよう整備する。
- 接遇に関する勉強会を行い、利用者を尊重し、個人の状況や立場に立った対応を心掛け、サービスの向上に繋げる。
- 各種研修会への積極的な参加で知識を得ることにより、サービスの質の向上に繋げる。
- 自然災害等、緊急時に備えて地元消防団及び、防災組織等と具体的な協力、連携体制の構築を図る。

## 短期入所生活介護（介護予防）事業所 野中

### 【基本方針】

利用者の生活課題や家族の抱える様々な問題やニーズを的確に把握すると共に、各関係機関及び、地域との連携を強化して利用者の精神的安定と身体機能の維持向上を目指した介護予防サービスを行う。

### 【具体的取り組み】

#### 1. 個別援助計画

利用者の心身状況及び、生活課題等のニーズを把握すると共に、各関係機関等と連携を図りながら、利用者及び、家族の希望に沿ったサービスを提供する。

- (1) サービス担当者会議等にて、利用者及び、家族の希望と、利用者の生活全般についてその状態を十分に把握する。
- (2) サービスの提供にあたり、居宅サービス計画に基づいたケアプラン（介護予防短期入所生活介護計画）を立案し、事前に利用者及び、家族に説明し、同意を得る。
- (3) 定期的なモニタリング(評価)を実施し、より利用者のニーズに沿ったケアプランの実践に努める。

#### 2. 機能訓練

利用者の自立を支援し、機能の維持向上を図るため、機能訓練を計画的かつ、継続的に実施する。

- (1) 利用者の心身状況及び生活リズムに応じて、日常生活に必要な機能を維持するためのリハビリを行う。
- (2) 利用者個々の生活史を考慮したレクリエーション活動を提供すると共に、経過や効果等について検証し、在宅生活や関連事業所でのケアに繋げる。

#### 3. 健康管理

生活環境の変化による体調不良、混乱を防止するために、必要な健康管理体制を整え、適切な対応を行う。

- (1) サービスの利用毎に、利用者の心身状況を確認し、本人及び家族、医療機関と連携を図り、健康管理を行う。
- (2) 感染症対策については、感染症マニュアルに沿って適切に対応し、予防に努め、発生時には蔓延、拡大の防止を図る。

#### 4. 環境整備

生活場所の変化による混乱が生じる可能性があることを説明し、情報収集することにより、できる限り在宅生活に近い環境の整備を行う。また、利用に際しては、事業所での居室環境について説明を行い、同意を得る。

#### 5. リスク管理

利用者が安全に過ごせるよう、事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

- (1) 介護用品や備品、危険箇所の点検を定期的に行い、安全かつ快適に過ごすための介護機器の検討と環境整備を行う。
- (2) 利用者の情報収集を十分に行い、予測できる事故について家族と共に理解し未然に防ぐ工夫をする。
- (3) ヒヤリハット活動を充実させることにより事故予防に繋げる。
- (4) 事故発生時は、マニュアルに沿った迅速かつ適切な対応を行い、原因を多面的に検証し、再発防止に努める。

#### 6. 防災対策

火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織等との連携強化を図る。

- (1) 火災害等の発生に備えて、状況に応じて迅速かつ、適切な避難誘導が行えるよう、定期的に避難訓練等を実施する。
- (2) 防災設備については、緊急時に十分機能するよう、日頃から定期的に点検整備を実施する。
- (3) 地震及び、風水害等発生時対応マニュアルに沿って、自然災害発生時における避難、救護体制の構築を図る。
- (4) 地域総合防災訓練への参加及び、消防機関、地域防災組織等との連携により地域ぐるみで自主防災機能の強化を図る。

#### 7. 職員教育

質の高いサービスを提供するために、自己研鑽に努め、資質の向上を図る。

- (1) 園内外で開催される各種研修・勉強会等に参加し、専門的な知識、技術を修得し、業務の適正化及び、効率化に努める。
- (2) 挨拶、言葉遣い、身だしなみ等、職員としての基本的なマナーを身につけると共に、職員個々のコミュニケーション能力を高め、サービスの質の向上を目指す。



## 8. 地域交流

地域における行事等への参加や、地区住民との交流、ボランティア等の受け入れを通じて、地域コミュニティ機能の充実を図る。

## 9. 地域貢献

関係機関と連携して、地域社会の中で生活していくための課題を発見し、地域における様々なニーズに柔軟に対応していく。

- (1) 地域行事に利用者と一緒に参加する。
- (2) 各関係機関、居宅介護支援センター、在宅支援センターと連携を図り、在宅生活を継続していく上で、サービスを必要としている人に対し早期に対応する。また、個々のニーズに対し、柔軟に対応する。

### 【重点目標】

- 夜間帯の様子など、生活全般について細かく観察することで、認知症等をはじめとする様々な生活課題に対して、ケアの検討や環境整備等に取り組み精神安定を図る。
- 利用者の心身機能に応じたレクリエーション実施方法を再検討し、計画的かつ継続性のある活動ができるよう取り組む。また、外出行事については利用者からの要望も多いことから、目的に合わせて外出先やグループ分け等を検討し、計画的に実施する。
- 利用者の希望や、身体状態に適したリハビリメニューを検討し、継続的に実施することにより、身体機能の維持向上を図る。
- 運動会への参加や準備の手伝い、野中ふれあい館周辺の清掃活動等の、地区行事に参加をし、地域貢献をすることで交流の推進を図り、事業所に対する理解や、コミュニティ機能の充実及び、利用者の拡大に繋げる。
- 接遇に関する勉強会を行い、利用者を尊重し、個人の状況や立場に立った対応を心掛け、サービスの向上に繋げる。
- 各種研修会への積極的な参加で知識を得ることにより、サービスの質の向上に繋げる。
- 自然災害等、緊急時に備えて地元消防団及び、防災組織等と具体的な協力、連携体制の構築を図る。

## 地域活動支援センター くりのみ

### 【基本方針】

なんらかの障がいのある人々が、自立した日常生活または社会生活を営むことができるように、創作的活動、生産活動の機会の提供及び社会との交流の促進を図ると共に、日常生活に必要な便宜の供与を適切かつ効果的に行う。

### 【具体的取り組み】

#### 1. 基礎的事業

安定した作業を提供し、働く喜びを知ってもらう。また、個々の個性、可能性に応じた個別の支援をしつつ、利用者間の協調性も養う。

- (1) 内職 100円ショップのプラスチック製品の組み立てやシール貼り  
タオル折り、ゴム部品のバリ取り
- (2) 自主製品 廃油せっけんの製造、販売・メダカの養殖、販売
- (3) バザー 販売品の製造、販売

#### 2. 機能強化事業

レクリエーションや季節の行事を体験したり、社会参加を積極的に行ったりすることで、日常生活の維持向上を図る。

- (1) 自主活動 お花見、新年会、クリスマス会、忘年会  
調理実習、学習会  
映画、交流会、遠足  
くりのみフレンドリー祭りの開催
- (2) 参加型活動 町内福祉施設周辺の草引き、清掃  
町内福祉施設での行事への参加  
市、他施設、病院等の行事へのバザー参加

#### 3. 職員教育

三障がい対応の体制であるため、それぞれの障がい特性についての知識を習得し、個別に柔軟で細かなサービスを提供する。

- (1) 各種研修会に参加し、専門的な知識、技術の習得に努め、利用者一人ひとりに合った支援を心掛ける。
- (2) 職員間で研修事項を共有し、統一した支援の提供に努める。
- (3) 定期的に事業所内勉強会を開催する。

#### **4. 家族支援**

家族にとっても頼りになる施設として、家族と交流を図り、協力し合う。

- (1) 家族とくりのみの交流を図る。
- (2) 家族会関係の行事、研修会に参加をする。
- (3) 障がい者関係の法律や障がいの特性、家族としての対応などの情報を提供する。
- (4) くりのみや行政への要望を聞き、より良いくりのみの在り方を考える。

#### **5. 地域貢献**

地域住民の福祉力を高めることのできる障がい福祉の拠点として、開かれた施設を目指す。

- (1) 行政機関、民生委員会、介護サービス機関等の関係機関との連携を深め、地域の中の障がい者やサービスを必要とする人に、くりのみの情報を伝える。
- (2) 地域事情を考慮した柔軟で幅広い支援を心掛ける。
- (3) 住民参加型のくりのみフレンドリー祭りを開催する。

## 指定相談支援事業所 くりのみ

### 【基本方針】

障がい者の福祉に関する各般の問題につき、障がい者や家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、その他の障がい福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行う。

また、虐待の防止及びその早期発見のための関係機関との連絡調整その他の障がい者等の権利擁護のために必要な援助を行う。

### 【具体的取り組み】

#### 1. 一般相談支援事業

利用者の日常生活全般を支援する観点から、障がい福祉サービス事業者や関係機関及び地域等と幅広く連携し、柔軟な支援を提供する。

- (1) 利用者が気軽に何でも相談できるような雰囲気づくりに努め、利用者の主訴を的確に把握する。
- (2) 利用者との信頼関係の構築に努め、継続的支援を提供する。
- (3) 利用者一人ひとりに合った支援を実施するために、関係機関と連携し、地域住民に対し、啓発活動を行う。

#### 2. 特定相談支援事業

利用者が希望する自立した生活を支えるため、適切な福祉サービスが多様な事業所から、総合的かつ効果的に提供されるよう配慮して計画を立てる。

- (1) 支給決定前に、利用者の居宅等への訪問面接によるアセスメントを行い、計画案（モニタリング期間の提案を含む）を作成する。
- (2) 利用者等の同意を得て、計画案を利用者に交付する。
- (3) 支給決定後、事業者と連絡調整を行うと共に、サービス担当者会議の開催等により、計画案の内容の説明及び意見を求める。
- (4) (3) により意見を求めた計画案について、利用者等に説明し、文書により同意を得て、計画を利用者に交付する。

#### 3. 地域移行支援・地域定着支援事業

施設・精神科病院から地域に移行するまでの支援や、地域生活を継続していくための支援を行う。

- (1) 地域移行
  - ① 地域移行支援計画を作成する。なお、作成にあたっては、利用者への面接や

障がい者支援施設や精神科病院の担当者を召集した会議を開催し意見を求める。

- ② 利用者への面接による相談や、施設、病院からの同行による支援を概ね週1回行う。
- ③ 利用者の状況に応じ、障がい福祉サービス事業の体験利用、1人暮らしに向けた体験宿泊を実施する。

#### (2) 地域定着

- ① 対象者ごとに、緊急時において必要となる家族、サービス事業者、医療機関等の連絡先等を記載した地域定着支援台帳を作成する。作成に当たっては、利用者に面接によるアセスメントを実施し、作成する。
- ② 利用者との常時の連絡体制を確保すると共に、居宅への訪問等を行い、利用者の状況を把握する。
- ③ 緊急時には、速やかに居宅への訪問を行い、状況を把握すると共に利用者の家族、関係機関との連絡調整、緊急一時的な滞在支援を行う。

### 4. 職員教育

各種研修会に積極的に参加し、知識・技術を習得することにより、職員の資質の向上に努める。

- (1) 面接技術の研鑽をすることにより、意思表示の難しい利用者の主訴を把握する力を身に付ける。
- (2) 障がい特性、制度等の研修に積極的に参加する。
- (3) 他機関と連携を図るために地域の会合や研修に参加する。

### 5. 地域貢献

地域住民に相談支援事業を広く周知し、障がいへの理解を深め、誰もが住みやすい町を目指す。

- (1) 地域住民が障がいについての理解を深めることができるように、啓発活動を行うことによって、地域の支援力を強化させる。
- (2) 個人情報に配慮しつつ、個別支援会議に地域住民の参加を呼びかけ、支援者のネットワークの構築を図る。
- (3) 地域の実情に合ったサービスの在り方を検討し、使えるサービスを増やす。
- (4) 地域において必要な社会資源の改善、開発に努める。